

# 開催報告 十河信二記念館・四国鉄道文化館 開館5周年記念シンポジウム 「鉄道高速化」で四国の発展を！

旧西条市の第2代市長を務めた後、第4代国鉄総裁に就任し「新幹線の生みの親」と呼ばれるなど、鉄道事業の発展に寄与された十河信二先生。そのご功績を今に伝える十



▲在りし日の十河信二先生

河信二記念館と、0系新幹線などを展示する四国鉄道文化館の開館5周年を記念し、このほど開催したシンポジウムには約三百人が来場しました。



▲ユーモアを交えながら講演されるJR東海の須田相談役

## ■パネルディスカッション

東京大学の原朗名誉教授による司会で、須田相談役のほか、四国旅客鉄道株式会社の梅原利之相談役、愛媛大学の西条高校生の4名がパネリストとして加わり、四国への整備新幹線導入への思いや観光の連携などについて意見が交わされました。

## ■企画展示

鉄道関係のポスターやレールの部品、十河信二先生に関する写真や書画等の展示も併せて行われ、貴重な資料に注目が集まっています。

## ■問合せ

観光交流センター  
内 観光振興課  
TEL 0897-47-3575



▲全国の鉄道ファンに愛され、四国鉄道文化館は開館5周年を迎えました。



▲十河先生にゆかりのある貴重な資料が展示された展示室内



▲地元の学生も参加して総合文化会館で行われたパネルディスカッション



## フエウオツチング

Chúc mừng năm mới!! (チュック・ムン・ナム・モイ「新年明けましておめでとう」)

ベトナムのお正月は旧暦に従っているためまだ新年は明けていませんが、お正月を前に街全体がそわそわし始めています。

そんな年の初めは、ベトナムの基本の調味料である塩・胡椒について紹介します。日本ではあまり知られていませんが、ベトナムは胡椒の輸出量が世界一を誇ります。そんなベトナムの胡椒は香りが豊かで、味も少し刺激的。現地では、日本では珍しい生胡椒を入手することも可能で、原産地ならではの贅沢な楽しみです。

また、ベトナムの塩は完全な天日干しで造られる海水塩。ベトナムの灼熱の太陽と青い海が生み出す塩はミネラルが豊富で口に入れると、海のような深い味わいが広がります。その品質は、世界的なフランスのブランド「グランドの塩」にも負けないほどで、国際的にも高く評価されています。

ベトナムでは塩・胡椒は、ライム・唐辛子などのさまざまな材料を混ぜ合わせて茹でた鶏肉や魚介類・野菜につけて食べるなど、食卓に欠かせないものです。ベトナムを訪れる機会があれば、お土産にベトナムの塩・胡椒を選んではいかがでしょうか。さらに料理が楽しくなりますよ。

(フエ市防災教育支援事業コーディネーター 中村範子)



▲ベトナムの塩・胡椒